

オンライン開催(Zoomウェビナー利用)※要事前予約

※参加者の氏名やお顔は見えませんが、ご安心ください。

～これまでわからなかった原因を見つけ対処する～ 難治性不妊症の治療

体外受精において、40歳未満の方が良好な受精卵(胚)を4回以上移植した場合、80%以上の方が妊娠されるといわれています。そのため、良好な胚を4個以上かつ3回以上移植しても妊娠しない場合は「難治性不妊症」と言われます。

当院では、患者様の自己血から抽出した高濃度の血小板(PRP)を子宮内に注入し子宮内膜を厚くして着床しやすくする「PRP療法」をはじめ、受精卵の染色体数を胚移植前に検査し、流産率を減少させる「着床前遺伝学的検査(PGT-A)」、子宮内膜の状態を知る「TRIO検査(ERA・EMMA・ALICE)」などの新しい治療も積極的に取り入れています。

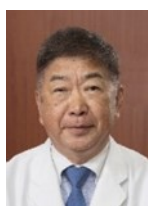
これらは、これまでなかなか妊娠が難しかった患者様の治療にも役立てられています。本講座は、難治性不妊症の治療について、医師・培養士の立場から、わかりやすく解説します。



日時：2023年12月2日(土) 14:00～15:00

プログラム (時間は多少前後することがあります)

- ◆14:00～ 難治性不妊の原因とその対処 (20分) 名誉病院長 堤 治 医師
- ◆14:20～ 難治性不妊と胚培養士の役割 (10分) 不妊技術室 猪鼻 達仁 胚
部長 久須美 真紀 医師
- ◆14:30～ 着床障害の検査と治療法 (20分)
- 14:50～ 質問回答 (10分) ★チャットでお寄せいただいた質問に医師が回答します



名誉病院長
堤 治 医師
リプロダクション・婦人科
内視鏡治療部門長
国際医療福祉大学 大学院教授

東京大学卒、医学博士
元東京大学医学部産婦人科教室教授、元東宮
職御用、前日本受精着床学会理事長、元日本
産科婦人科内視鏡学会理事長、日本産科婦人
科学会認定産婦人科専門医、日本生殖医学会
認定生殖医療専門医、日本産科婦人科内視鏡
学会技術認定医



リプロダクション・婦人科
内視鏡治療部門部長
久須美 真紀 医師
国際医療福祉大学
臨床医学研究センター准教授

東京大学卒、医学博士
前東京大学医学部附属病院助教
日本産科婦人科学会認定指導医、日本生殖
医学会認定指導医、臨床遺伝専門医、日本
産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内
視鏡外科学会技術認定医



不妊技術室
猪鼻 達仁 胚培養士
国際医療福祉大学大学院
生殖補助医療
胚培養分野 講師

北里大学 獣医畜産学学部卒 同大学院修了
日本臨床エンブリオロジスト学会理事、
日本受精着床学会幹事、産婦人科PRP研
究会幹事等を歴任、胚培養士・生殖医療
分野の学会にて講師を務める

参加申し込み方法 (ライブ配信/オンデマンド配信)

当院Webサイトのさんのう健康講座お申し込みフォームからお申し込みください。

→ライブ配信：当日の参加URL等をメールでご連絡します。

ドメイン指定受信で「@iuhw.ac.jp」が受信できるように設定してください。

→オンデマンド配信：後日録画した動画のURLをお送りいたします。

予約制



お申し込みフォーム